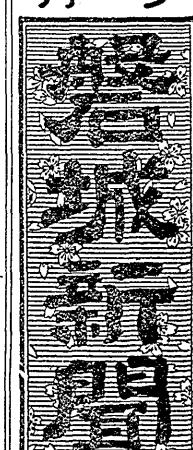


刊 夕



磐城藝術『詩、力』

登美多美紗緒

詩の生命は、その作品が讀者の胸に作用する力の量的及び質的大小にある……斯ふ斷言する私は勿論感情派を提倡する者であり、詩の分析的批評を排斥する者である。

一つの詩の中に盛られた作者の表現しやうとした内なるものと、その表現法とが渾一体の生命をもつた。

一つの塊りとなつて、讀者が胸に響いてくる力の大小定さるべきである。詩作品より放射される力、それは各詩人の個性に依り又詩讀者の個性教養、趣味、理解力に依つて種々様々な形をもつて讀者の胸に作用するであらう。例へば富田三参考の詩が細かい白金線のやうな洗練された力で作用し久田花子の詩が鈍い滅多打ちで胸をうつやうにである。それはどんな表現法を用ひてもせよその詩が如何に強く讀者の胸をうつかう。ルビとゴヂックで詩の生命である。

詩の發表もいかんなどと短く書かれてある。詩こそが詩的根本的條件であり。又

詩の個性をもつて、讀者は如何にしたら一番強烈な表現法を以てするに過ぎない。私は言はせればそんなことは第二義的事で、表現法はどんなんであれ要是『強く我が胸を打て』といふとして、詩は徒らに空中に飛ぶ。表出法の問題に過ぎない。

讀者の胸を打つかといふと、讀者の胸を打つから、詩は徒らに空中に飛ぶ。表出法の問題に過ぎない。

斯ふ断言する私には勿論感情派を提倡する者であり、詩の分析的批評を排斥する者である。

一つの詩の中に盛られた作者の表現しやうとした内なるものと、その表現法とが渾一体の生命をもつた。

一つの塊りとなつて、讀者が胸に響いてくる力の大小定さるべきである。詩作品より放射される力、それは各詩人の個性に依り又詩讀者の個性教養、趣味、理解力に依つて種々様々な形をもつて讀者の胸に作用するであらう。例へば富田三参考の詩が細かい白金線のやうな洗練された力で作用し久田花子の詩が鈍い滅多打ちで胸をうつやうにである。それはどんな表現法を用ひてもせよその詩が如何に強く讀者の胸をうつかう。ルビとゴヂックで詩の生命である。

詩の發表もいかんなどと短く書かれてある。詩こそが詩的根本的條件であり。又

詩の個性をもつて、讀者は如何にしたら一番強烈な表現法を以てするに過ぎない。私は言はせればそんなことは第二義的事で、表現

潮聲句會 第四十七集

信濃の旅 島田忠夫

